

2026年3月期第1四半期 決算説明資料

2025年7月30日

NECキャピタルソリューション株式会社

2026年3月期第1四半期 決算説明資料

1. 2026年3月期第1四半期 実績報告

- 1) 決算ハイライト
- 2) 事業環境
- 3) 業績概要
- 4) 事業別損益
- 5) 事業別の営業状況
- 6) リース事業の営業状況
- 7) ファイナンス事業の営業状況
- 8) インベストメント事業の状況
- 9) 営業資産残高の状況
- 10) 資金調達の状況
- 11) 与信関連費用

2. 2026年3月期 計画

1. 2026年3月期第1四半期 実績報告

1) 決算ハイライト

事業環境

業界全体のリース取扱高は前年同期比横ばい
資金調達環境や倒産状況は引続き今後の動向に注視が必要

営業実績

リース事業は、官公庁の大型案件の計上から成約高が前年同期比大幅増加
ファイナンス事業は、契約実行高・成約高共に前年同期比減少

< リース事業 >	契約実行高：	1.7%減少	成約高：	24.9%増加
< ファイナンス事業 >	契約実行高：	8.7%減少	成約高：	8.1%減少

経営成績

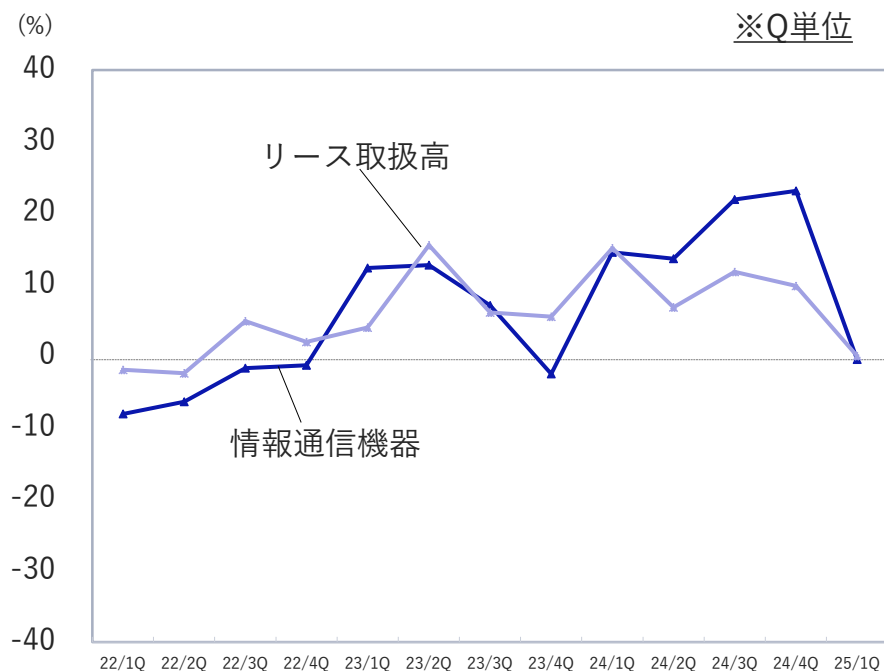
リース事業やその他の事業の伸長に伴い、前年同期比で売上高および売上総利益は増加したものの、与信関連費用における貸倒引当金戻入益の減少等により最終利益は前年同期比ほぼ横ばい

2) 事業環境

リース取扱高 業界全体は前年同期比横ばい、当社主力の情報通信機器は前年同期比0.5%減少

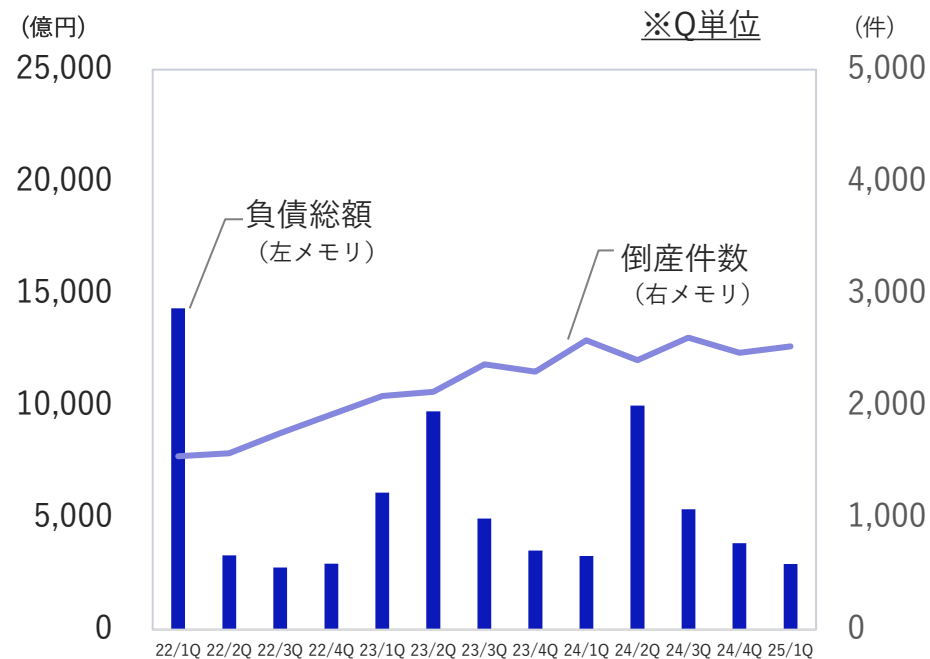
倒産状況 負債総額および倒産件数は前年同期比減少

リース取扱高動向（前年同期比推移）



（社団法人リース事業協会：リース統計より）

倒産状況（負債総額/件数）



（帝国データバンクHP：倒産集計より）

3) 業績概要

売上高

リース事業の伸長や販売用不動産の物件売却等により前年同期比5.7%増加

最終利益

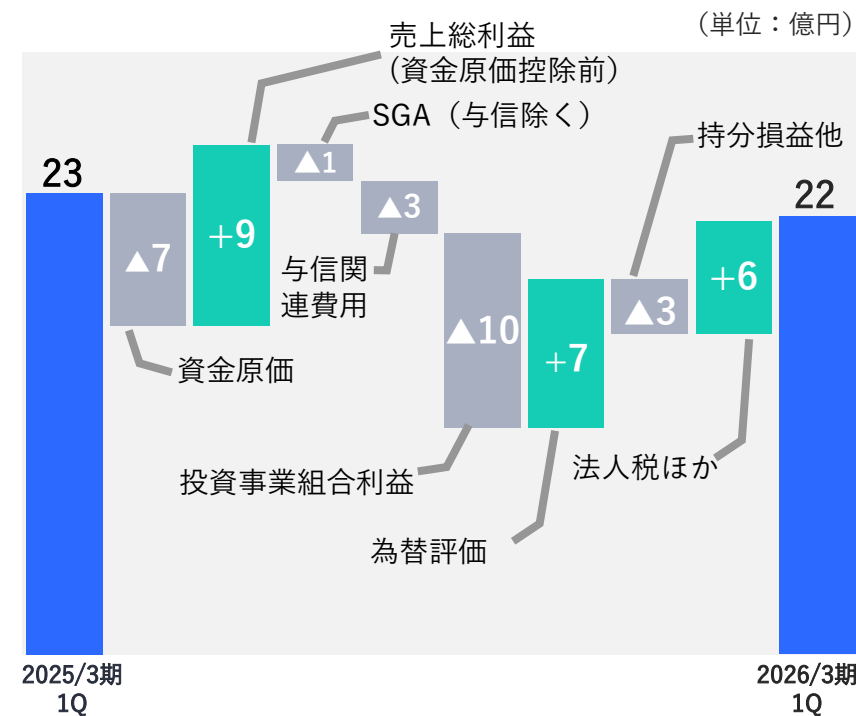
資金原価の上昇分を吸収し売上総利益は前年同期比で増加
営業外損益や法人税ほかの要因等から、ほぼ前年並みの最終利益を確保

業績数値

(単位：億円)

	2025/3期 1Q	2026/3期 1Q	前年同期比
売上高	615	650	+5.7%
営業利益	26	24	▲7.0%
経常利益	37	30	▲18.7%
親会社株主に帰属する四半期純利益	23	22	▲5.0%
1株当たり四半期純利益	106円70銭	101円32銭	—
営業資産残高	9,847	10,212	+3.7%
純資産	1,398	1,402	+0.3%
自己資本	1,184	1,198	+1.2%
自己資本比率 (%)	10.7	10.3	—
1株当たり中間配当金 (円)	75	※予想 75	+0

最終利益 前年同期比主要増減要因



4) 事業別損益

事業別損益

(単位：億円)

		2025/3期 1Q	2026/3期 1Q	前年同期比
リース 事業	売上高	566	582	+2.8%
	売上総利益	42	43	+3.8%
	営業利益	16	16	+3.7%
ファイナンス 事業	売上高	20	17	▲15.1%
	売上総利益	13	9	▲32.0%
	営業利益	10	4	▲58.8%
インベストメント 事業	売上高	20	29	+39.5%
	売上総利益	14	17	+18.1%
	営業利益	6	8	+37.7%
その他の 事業	売上高	9	24	+150.3%
	売上総利益	5	8	+43.1%
	営業利益	2	2	+29.2%
計	売上高	615	650	+5.7%
	売上総利益	74	76	+3.3%
	営業利益	26	24	▲7.0%

リース事業

売上高及び売上総利益は堅調に推移。営業利益は、前年同期に計上のあった貸倒引当金戻入益の減少に伴い、前年同期並み

ファイナンス事業

金利収益及び配当収益の減少等により売上高は前年同期比減少。営業利益についても、前年同期に計上のあった貸倒引当金戻入益の減少に伴い、減少

インベストメント事業

営業投資有価証券の売却や、営業貸付金の金利収入の増加等により、売上・利益ともに前年同期比増加

その他の事業

売上高は、販売用不動産の売却等により前年同期比大幅増加、販管費の増加はあったものの、営業利益も前年同期比増加

5) 事業別の営業状況

事業別契約実行高

(単位：億円)

	2025/3期 1 Q	2026/3期 1 Q	前年同期比
リース事業	445	437	▲1.7%
賃貸事業	404	406	+0.6%
割賦販売	41	31	▲24.4%
ファイナンス事業	837	764	▲8.7%
営業貸付金	552	497	▲10.0%
一括ファクタリング	285	267	▲6.3%
その他の事業	—	—	—
計	1,282	1,202	▲6.3%

事業別成約高

(単位：億円)

	2025/3期 1 Q	2026/3期 1 Q	前年同期比
リース事業	624	779	+24.9%
賃貸事業	590	749	+27.0%
割賦販売	34	30	▲10.5%
ファイナンス事業	829	763	▲8.1%
営業貸付金	545	496	▲9.0%
一括ファクタリング	285	267	▲6.3%
その他の事業	—	—	—
計	1,453	1,542	+6.1%

事業別契約実行高

リース事業（賃貸事業）は概ね前年並みであるものの、ファイナンス事業の減少に伴い、全体では前年同期比減少

事業別成約高

リース事業の伸長により前年同期比増加

6) リース事業の営業状況

業種別契約実行高

(単位：億円)

	2025/3期 1Q	2026/3期 1Q	前年同期比
官公庁	157	200	+27.3%
民需	288	238	▲17.5%
サービス業	106	89	▲15.5%
流通業	40	40	▲0.1%
製造業	78	63	▲19.3%
その他	64	45	▲29.5%
計	445	437	▲1.7%

(参考) 機種別契約実行高

(単位：億円)

	2025/3期 1Q	2026/3期 1Q	前年同期比
情報通信機器	355	323	▲9.0%
電子計算機及び関連装置	186	164	▲11.5%
ソフトウェア	135	139	+2.5%
通信機器及び関連装置	34	20	▲41.6%
事務用機器	42	32	▲23.4%
その他機器	49	83	+69.4%
計	445	437	▲1.7%

業種別成約高

(単位：億円)

	2025/3期 1Q	2026/3期 1Q	前年同期比
官公庁	374	569	+52.1%
民需	250	210	▲15.7%
サービス業	84	82	▲1.6%
流通業	33	36	+9.5%
製造業	70	54	▲22.6%
その他	63	38	▲40.3%
計	624	779	+24.9%

業種別契約実行高

官公庁は堅調に案件を積み上げ前年同期比増加

民需はサービス業や製造業等の減少に伴い前年同期比減少

業種別成約高

官公庁は大型案件を複数獲得し、前年同期比大幅増加

民需は製造業、その他の減少等により前年同期比減少

7) ファイナンス事業の営業状況

契約形態別契約実行高

(単位：億円)

	2025/3期 1 Q	2026/3期 1 Q	前年同期比
立替・APF・割賦バック	42	37	▲11.2%
個別ファクタリング	262	202	▲23.1%
一括ファクタリング	285	267	▲6.3%
企業融資	233	243	+4.1%
その他	15	16	+4.6%
計	837	764	▲8.7%

業種別契約実行高

(単位：億円)

	2025/3期 1 Q	2026/3期 1 Q	前年同期比
官公庁	0	0	▲43.3%
民需	552	497	▲9.9%
サービス業	40	31	▲22.9%
流通業	7	7	▲10.5%
製造業	276	218	▲20.9%
金融業・保険業	71	30	▲57.5%
不動産業	113	150	+32.8%
その他	45	62	+37.1%
一括ファクタリング	285	267	▲6.3%
計	837	764	▲8.7%

契約形態別契約実行高

企業融資は増加したものの、ファクタリングの減少により前年同期比減少

業種別契約実行高

不動産業は企業融資を中心に伸長したものの、個別ファクタリングの多い製造業が減少

8) インベストメント事業の状況

事業別損益

(単位：億円)

		2025/3期 1Q	2026/3期 1Q	差異
アセットビジネス	売上高	15	22	7
	売上総利益	11	13	2
	営業利益	5	7	2
不動産	売上高	4	6	2
	売上総利益	2	3	1
	営業利益	▲0	0	0
アドバイザー	売上高	2	1	▲0
	売上総利益	2	1	▲0
	営業利益	1	0	▲0
連結ベース 計	売上高	20	29	8
	売上総利益	14	17	3
	営業利益	6	8	2

※「調整額」を除いて表示

営業投資有価証券の売却や、営業貸付金の金利収入の増加等により、売上・利益ともに前年同期比増加

アセットビジネス

投資有価証券の売却や金利収益で売上総利益を積み上げ、売上・利益ともに前年同期比増加

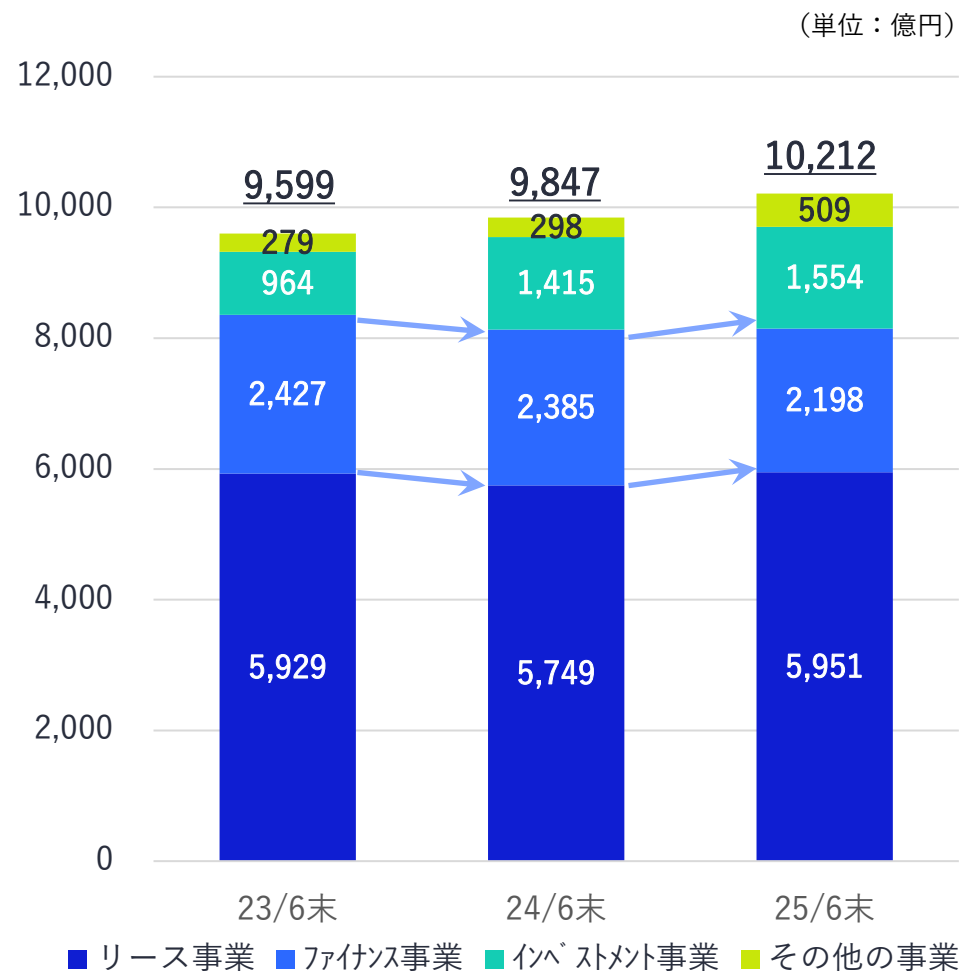
不動産

インカムゲインアセットからの賃料収入を計上

アドバイザー

前年並みの推移

9) 営業資産残高の状況



リース事業

官公庁の大型案件の資産計上等により前年同期比202億円増加

ファイナンス事業

前年同期比で減少となるものの、アセットの入れ替えは進展

インベストメント事業

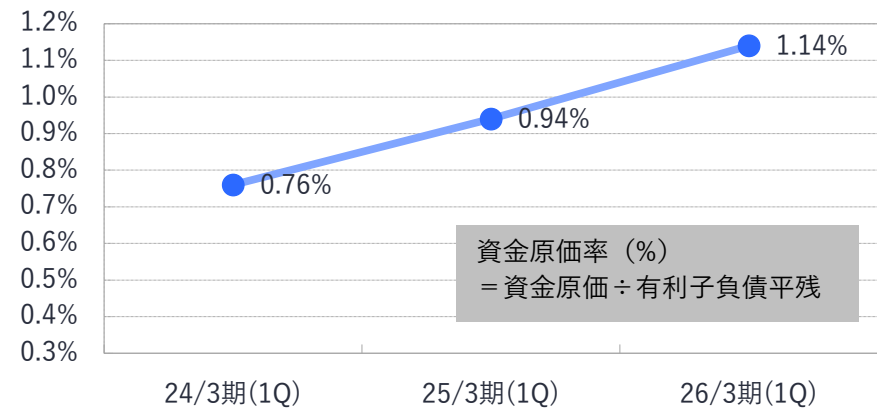
投資活動の進展およびインカムゲインアセットの取得により前年同期比139億円増加

その他の事業

レジデンス等の不動産の取り組み進展から前年同期比211億円の増加

10) 資金調達状況

資金原価率

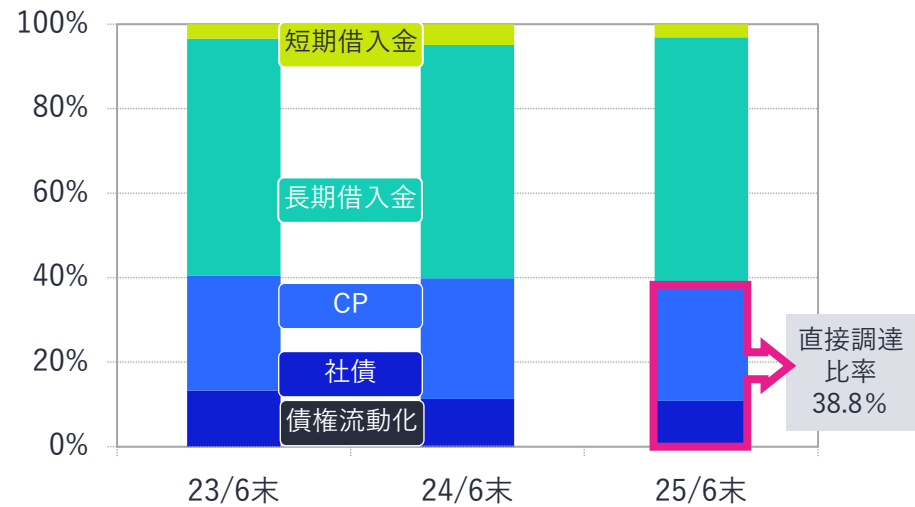


有利子負債残高

(単位：億円)

	2024/6末	構成比	2025/6末	構成比	増減
短期借入金	448	4.9%	300	3.1%	▲147
長期借入金	5,053	55.3%	5,653	58.1%	+600
CP	2,610	28.5%	2,720	28.0%	+110
社債	1,007	11.0%	1,036	10.6%	+29
債権流動化	25	0.3%	21	0.2%	▲4
計	9,143	100%	9,731	100%	+587

有利子負債構成比



資金原価率

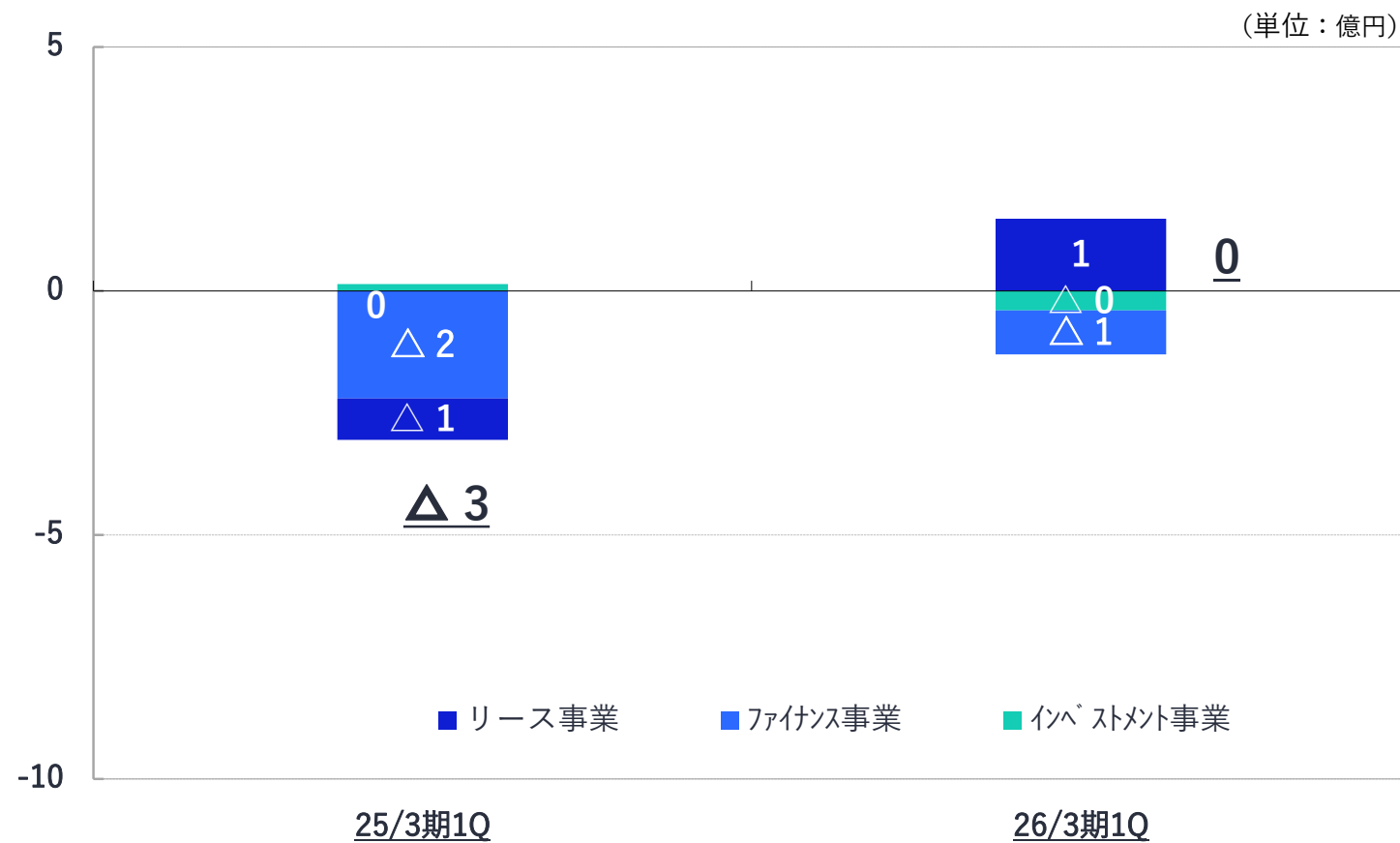
外貨金利は低下したものの円金利の上昇等に伴い、前年同期比0.20ポイント増加の1.14%

直接調達比率

おおむね40%程度を目線とし、2025/6末は38.8% (2024/6末39.8%)

11) 与信関連費用

前年同期に発生した戻入益の影響等により、前年同期比で約3億円の増加



2. 2026年3月期 計画

1) 業績予想

- ・ リース事業及びファイナンス事業の持続的な成長とインベストメント事業の収益拡大に加え、SBI新生銀行グループとの事業シナジーを創出することにより、利益面では最高益更新を計画
- ・ 2026年3月期の1株当たりの配当金は、前期と同様の年間150円を予想

業績予想

(単位：億円)

	2026/3期 1Q(実績)	2026/3期 年間(予想)
売上高	650	2,950
営業利益	24	155
経常利益	30	160
親会社株主に帰属する純利益	22	100
1株当たり純利益 (円)	101円32銭	464円25銭

1株当たり配当金

	第2四半期末	期末	年間
2025/3期 実績	75円00銭	75円00銭	150円00銭
2026/3期 予想	75円00銭	75円00銭	150円00銭

NECキャピタルソリューション グループビジョン

次世代循環型社会をリードする Solution Company



NEC

\Orchestrating a brighter world